

# 環境政策による地域経済循環の 拡大に向けて

## 水俣市の取組から

平成26年10月30日  
水俣市



# 目次

1. 水俣市の概要(これまでどうしてきた)
2. 水俣の地域経済循環分析(健康診断)の実施
3. 水俣市の取組み(これからどうする)



A wide-angle photograph of a tea plantation in a valley. The tea bushes are arranged in neat, curved rows that follow the contours of the hills. The color of the tea leaves is a vibrant green. In the background, there are more hills and a range of mountains under a clear, bright sky. The overall scene is peaceful and scenic.

雨は大地を潤し





# 棚田を巡り



# 生き物の命を育くむ川となり 下流へ向かう







やがて、川と川は出逢い、



# 不知火海へそそぐ



# 水俣市は

## 位置

熊本県の南端  
鹿児島県との県境

人口約 26,400人  
高齢化率約 34%  
世帯数約 12,000世帯



水俣市

鹿児島



# 自然環境に恵まれたどこにもあるような小都市

森林が市域の75%うち人工林95%

川の源流から河口まで市域にある



不知火海

水俣湾

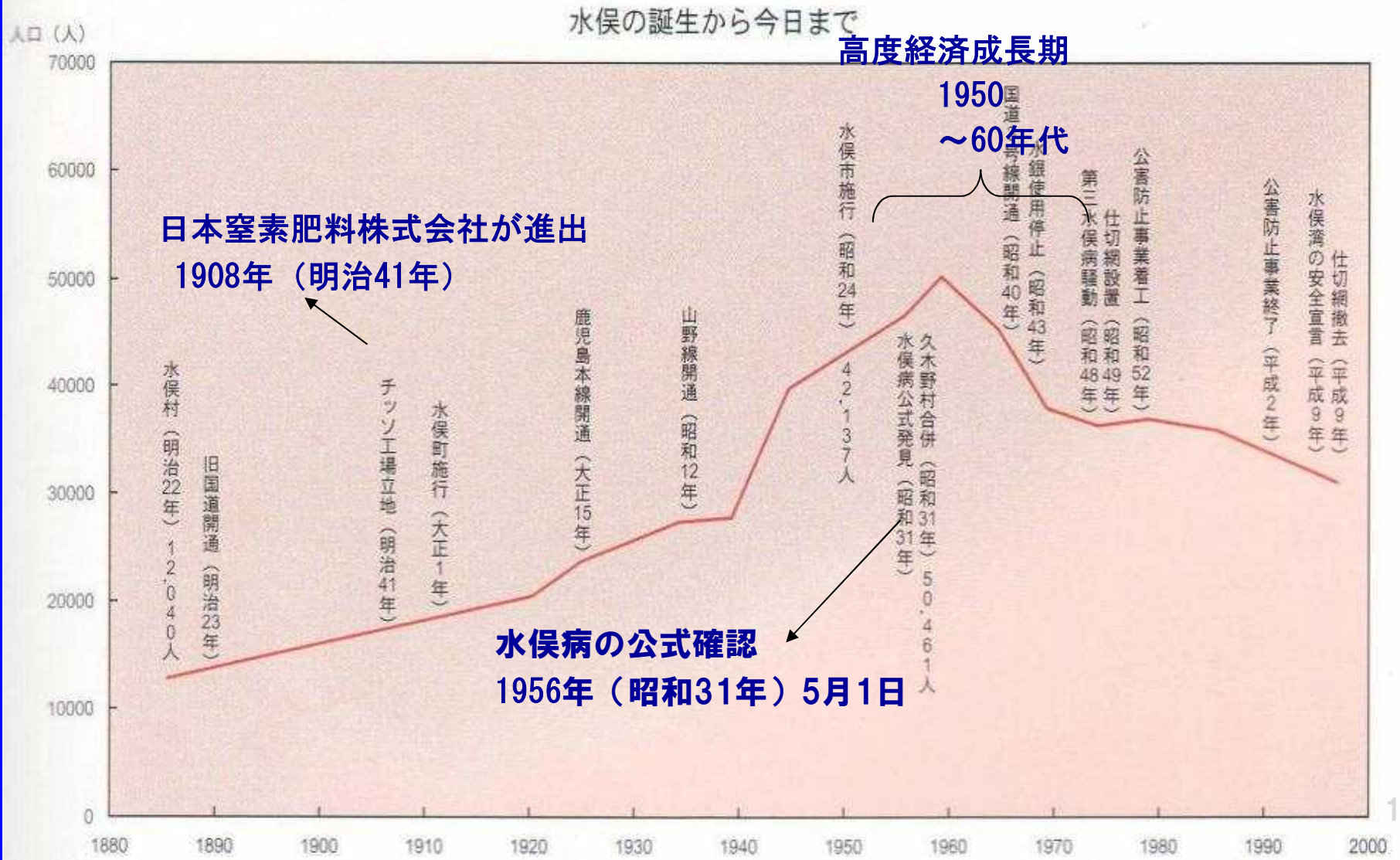
鹿児島県  
出水市

鹿児島県  
伊佐市



# 水俣はチツソとともに成長そして水俣病が起きたまち

- 水俣市にチツソの工場ができた1908年からの百年、水俣市はチツソの発展とともに成長し、ピーク時の人口は5万人を超えた。
- しかし、水俣病の発生とともに人口減少、経済の停滞が始まり、現在の人口はピーク時からほぼ半減

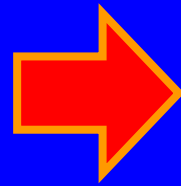




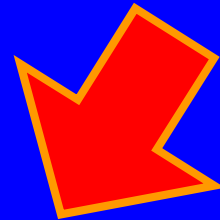
# その水俣病の影響は

## 誹謗中傷・風評被害・差別偏見

物が売れない  
人が来ない  
就職できない  
婚約が破棄される  
水俣出身と言えない



人と人との  
大切なつながりや  
コミュニティまでも  
めちゃくちゃになった



# 水俣のまちは元気を失った





エコパーク水俣  
(水俣湾埋立地：58ha)

1977～1990 (13年の歳月)

総事業費：485億円

水俣湾





水俣湾に珊瑚が蘇った





豊かな藻場（海藻）や稚魚が育つ





**ピラミッド状に加工した藻礁を海底に設置**

# 藻礁にアオリイカが産卵





タコが棲みついた





# 一方で環境による まちの再生とコミュニティの再生に取り組んだ

## 日本で初めて「環境モデル都市づくり」宣言(1992年)

- 産業公害の体験を人類への警鐘とするため
- 水俣病のような不幸な公害を二度と繰り返さないため
- 今後進むべき水俣市民の行動指針として

## もやい直し(1994年～)

- 水俣病の発生により分断された地域社会、失われた人と人との絆や地域コミュニティの再構築を図る取り組み



## 環境モデル都市に認定(2008年)

- 国の環境モデル都市（全国13都市）に認定

## 日本の「環境首都」称号獲得(2011年)

- 市民協働によるごみの高度分別、環境ISO、環境マイスター、エコショップ制度等の市民参加の先進的取組が認められ、日本で唯一「環境首都」の称号を獲得。



環境再生とコミュニティの再構築は進んだが、地域全体を元気にするためには「次のステップ」が必要だった。



# ここ数年の「次のステップ」への取組

## みなまた環境まちづくり研究会（平成22年度）：問題意識の醸成

平成22年10月

- 水俣市「みなまた環境まちづくり研究会」（座長：大西隆東京大学大学院教授：現日本学術会議会長）発足

平成23年3月

- 「みなまた環境まちづくり研究会報告書」（市民への専門家による参考書）

## みなまた環境まちづくり推進事業（平成23年度）：戦略づくり

平成23年9月

- 水俣市「環境まちづくり推進事業合同会議/円卓会議」の発足。市民・行政・専門家協働の会議。市民も参加した徹底した現状分析とそれに基づく戦略づくり。
  - **地域経済循環分析**（既存統計と独自調査「水俣の産業を元気にするための基礎調査」等）
  - その他調査（観光資源棚卸し、大学アンケート、外来受診者アンケート等）

平成24年3月

- 「平成23年度水俣市環境まちづくり推進事業概要報告書」（新しい環境まちづくりの方針）

## 「環境首都水俣」創造事業（平成24年度～）：戦略の実施

平成24年4月～

- 環境首都水俣創造事業開始。上記報告書に係る事業等の実施を目的。



# 「みなまた環境まちづくり研究会」

## みなまた環境まちづくり研究会(平成22年度)

- 全国で活躍する多方面の専門家が集まって、水俣のまちづくりの方向性について議論した「みなまた環境まちづくり研究会(座長：東京大学大学院大西隆教授)」が、水俣市のまちづくりの新たな契機となった。



# 「みなまた環境まちづくり推進事業」

## みなまた環境まちづくり推進事業(平成23年度)

- 「環境まちづくり推進事業合同会議/円卓会議」では、市民・行政・専門家が協働。市民も参加した徹底した現状分析とそれに基づく戦略づくりを行った。





# 「みなまた環境まちづくり研究会」から 「みなまた環境まちづくり推進事業」へ

みなまた環境まちづくり研究会

報告書



平成 23 年 3 月  
水俣市

専門家の参考書を  
生かして市民参加  
の総合戦略作り

平成 23 年度環境まちづくり推進事業  
概要報告書

平成 24 年 3 月  
水俣市